

1. 科目名 (単位数)	人権教育 (2単位)	3. 科目番号	GELA1305 GEBS1105						
2. 授業担当教員	松原 好広								
4. 授業形態	講義、グループ学習、討議、発表等	5. 開講学期	春期/秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	<p>○人権教育とは「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」(「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律第2条」)であり、国民は「人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」(同法律第6条「国民の責務」)とされている。</p> <p>○上記の趣旨を受けて、本科目においては、日本及び海外の人権課題(問題)の現状や解決・改善の取り組みについて理解を深める学習を行う。</p> <p>○学校や社会における継続した人権教育の必要性やその在り方を実践的に学習し、人権感覚を磨き、身に付けられるようにする。</p> <p>○人権教育に関わる基本的な法例等についても学習する。</p>								
8. 学習目標	<p>○人権の歴史や日本国憲法における国民の権利について再確認し、重要点についての理解を深めることができる。</p> <p>○人権教育の根拠法である「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」や「人権教育・啓発に関する基本計画」について、目的、基本理念、内容について理解を深めることができる。</p> <p>○『人権教育・啓発白書』に示されている我が国の人権課題を把握し、人権尊重に関する現状と諸課題についての理解を深め、人権課題の解決に努めていこうとする姿勢を身に付ける</p> <p>○学校や社会において、人権感覚を磨き身に付ける継続した取り組みの必要性について、積極的に授業に参加し、理解を深めることができる。</p> <p>○人権擁護を目的とする種々の国際法(条約)や国内法の概要を理解できる。</p>								
9. アサインメント(宿題)及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題研究1「学校における人権問題」について</li> <li>・課題研究2「社会における人権問題」について</li> </ul>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>教科書 令和2年版 人権教育・啓発白書 法務省 (秋期受講者は令和3年版 人権教育・啓発白書 法務省を使用すること)</p> <p>参考資料 人権教育プログラム(学校教育編) 東京都教育委員会 その他、必要に応じて資料を配布します。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人権教育の意義及び基礎を理解しているか。</li> <li>2. 人権問題の現状や解決・改善の取り組みについて自らの問題として理解を深めているか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>グループでの活動、授業への積極的参加度、レポート等を総合して評価する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 グループでの活動</td> <td>総合点の30%</td> </tr> <tr> <td>2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)</td> <td>総合点の20%</td> </tr> <tr> <td>3 レポート等(小課題、試験を含む)</td> <td>総合点の50%</td> </tr> </table> <p>上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の取得条件であることも配慮する。</p>			1 グループでの活動	総合点の30%	2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%	3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%
1 グループでの活動	総合点の30%								
2 積極的態度(発言、討議、取り組み等)	総合点の20%								
3 レポート等(小課題、試験を含む)	総合点の50%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>この科目は、将来、教師を志す人のために履修してもらおうためのものです。したがって、皆さんの講義へ取り組む姿勢が問われることとなります。また、専門的、究極的な人権感覚を身に付けるのではなく、一人の教師として、日常、どんなときにも人権感覚をもって子どもたちと接することのできる教師を目指すという自覚をもって講義に参加してください。</p>								
13. オフィスアワー	授業の前後等に直接確認してください。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第1回	人権問題とは何かについて、人権の歴史や法律を通して考える。	事前学習	事前に配布される「日本国憲法」「世界人権宣言」「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」のプリントを読んでくる。						
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第2回	身近な人権問題について考える。	事前学習	事前に配布される身近な人権問題のプリントを読んでくる。						
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。						
第3回	学校における人権問題の効果的な校内研修について考える。	事前学習	事前に配布される学校における体罰問題のプリントを読んでくる。各自、付箋紙を用意する。						
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。						

第4回	学校における体罰問題について考える。	事前学習	事前に配布される学校における体罰問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第5回	学校におけるいじめ問題について考える。1 いじめ問題の根底にあるもの	事前学習	事前に配布される学校におけるいじめ問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第6回	学校におけるいじめ問題について考える。2 いじめ問題の克服に向けて	事前学習	事前に配布される学校におけるいじめ問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第7回	学校における児童虐待について考える。	事前学習	事前に配布される学校における児童虐待のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第8回	学校における進路指導関係書類について考える。	事前学習	事前に配布される学校における進路指導関係書類のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第9回	○課題研究1 「学校における人権問題」について	事前学習	前時までに学んだ学校における人権問題について整理しておく。
		事後学習	課題研究1で述べたことを、もう一度、自分の中で整理しておく。
第10回	社会における男女平等問題について考える。	事前学習	事前に配布される男女平等問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第11回	社会における HIV、ハンセン病、新型コロナ等の感染者への差別問題について考える	事前学習	事前に配布される HIV、ハンセン病、新型コロナ等の感染者への差別問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。。
第12回	社会における北朝鮮による拉致問題について考える。	事前学習	事前に配布される北朝鮮による拉致問題による人権侵害のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第13回	社会における高齢者問題について考える。	事前学習	事前に配布される高齢者問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第14回	社会における障がい者問題について考える。	事前学習	事前に配布される障がい者問題のプリントを読んでくる。
		事後学習	授業内容やディスカッションで話し合ったことをワークシートにまとめ、分からなかったところがあれば教員に質問する。
第15回	○課題研究2 「社会における人権問題」について	事前学習	前時までに学んだ社会における人権問題について整理しておく。
		事後学習	課題研究2で述べたことを、もう一度、自分の中で整理しておく。